

|      |             |      |    |      |   |      |      |
|------|-------------|------|----|------|---|------|------|
| 科目名  | 発達心理学演習 I A |      |    |      |   | 単位   | 2.0  |
| 担当教員 | 高橋 彩        |      |    |      |   |      |      |
| 授業形態 | 演習          | 開講期間 | 前期 | 配当年次 | 2 | 授業番号 | 5407 |

●授業のテーマ

人間の生涯にわたる心理的、行動的变化を考える。

●到達目標

言語、認知、情動、パーソナリティ、社会性などの発達が、人生における各時期の人間関係とどのように関わり合っているのかを理解し、生涯発達の視点から人間をとらえることが出来るようになることを目的としている。

●学習内容(授業概要)

人生のそれぞれの時期に特徴的な発達の变化と、その発達を規定する要因について解説する。テーマに関連する研究論文や心理尺度などを紹介し、受講生は自分で実施した結果やその考察をレポートとして提出することが求められる。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. 発達心理学の理論家
2. 新生児の認知能力
3. 乳児期の親子関係 愛着
4. 乳児期のコミュニケーション 社会的参照
5. 幼児期の遊び
6. ピアジェの認知発達理論
7. 友人関係の発達
8. 道徳性の発達
9. 感情の発達
10. 自己の発達 自己概念 アイデンティティ
11. 遺伝と環境
12. 成人期(1) 結婚と子育て
13. 成人期(2) 仕事と家庭 性役割
14. 成人期(3) 生きがいとは
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

日頃から、子どもや若者、家族に関するニュースに関心を持ち、少しでも気になることがあれば調べてみるとよい。

●成績評価方法・基準

学期末試験の成績50% 授業内で実施する課題レポート50%で評価する。

●テキスト（必携）

テキストは使用しない。授業内で適宜プリントを配布する。

●参考文献／その他

●履修上の注意

特になし。